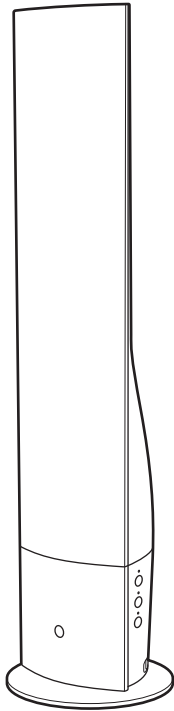


ハイブリッド式加湿器 DKHS-352/SHKD-352/DKHS-3521/SHKD-3521

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意P. 2~3
各部の名称とはたらきP. 4~5
正しい使いかた P. 6~10
お手入れと保存 P. 11~13
修理・サービスを依頼する前にP. 14
アフターサービスについて裏表紙
保証書裏表紙



仕 様

型 名	DKHS-352/SHKD-352/DKHS-3521/SHKD-3521
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	約83W
加湿装置	ハイブリッド式加湿器
加湿性能	1時間当り [強]:約350ml / [中]:約250ml / [弱]:約150ml / [微弱]:約100ml
連続加湿時間	約7時間 ([強]運転時)
水タンク容量	約2.6L
電源コード長さ	約1.8m
外形寸法	約 直径23×高さ91.5cm
質 量	約2.7kg (本体のみ)
付 属 品	取扱説明書・保証書× 1、リモコン本体× 1、リモコン用コイン形リチウム電池(CR2025)× 1、吸気フィルター×1(本体に装着済)、フェルト× 4(1枚は本体に装着済)、掃除用ブラシ×1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意







- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・感電の原因になります。	 分解禁止	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

	<p>湿度の高いところ(85%以上)では使用しない。 室内を濡らしたり、故障の原因となります。</p>	 禁止	<p>リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない、火の中に入れてない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。</p>
	<p>ミストが直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。 本体を壁、家具、カーテン、寝具などから50cm以上離してご使用ください。</p>		<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。</p>
	<p>犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。</p>		<p>本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておく、カビや雑菌が繁殖し異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクの水を捨ててください。</p>
	<p>傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所には置かない。 転倒すると本体の破損、けがの恐れがあります。</p>		<p>リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや爆発の原因となります。</p>
	<p>ミスト吹出口に指を入れない。 けがの恐れがあります。</p>		<p>長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておく、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>
	<p>ミスト吹出口をふさがない。 ミスト吹出口をふさぐと、変形や故障の原因となります。</p>	 指示	<p>リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</p>
	<p>水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になります。</p>		<p>水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。</p>
	<p>お湯は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形・誤動作の原因になります。</p>		<p>本製品の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は加湿器の近くに置かないでください。 水道水に含まれるミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)がミストと共に空気中に放出され、水分が酸化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが精密機器、電子機器などの故障の原因になるおそれがありますので、ホコリや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。</p>
	<p>アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。 本体の破損、故障の原因になります。</p>		<p>凍結に注意する。 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。</p>
	<p>本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用しない。 使用すると、本体の吸気口がふさがり、本体の故障や水漏れの原因になります。</p>		
	<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>	 注意	<p>本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上離して設置する。 雑音の原因になる場合があります。</p>
	<p>リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。</p>		<p>本体を傾けない。 水タンクに、水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる恐れがあります。</p>



禁止

各部の名称とはたらき

リモコン

①電源ボタン

②加湿量ボタン

③タイマー/消灯ボタン

※リモコンのボタンは、本体のボタンと同じ動きをします。



操作部

給水表示ランプ

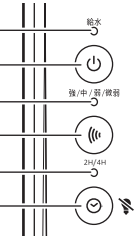
①電源ボタン

加湿量ランプ

②加湿量ボタン

タイマーランプ

③タイマー/消灯ボタン



加湿量の設定:

②加湿量ボタンを押すごとに加湿量ランプが次のように切り替わります。

強 → 中 → 弱 → 微弱

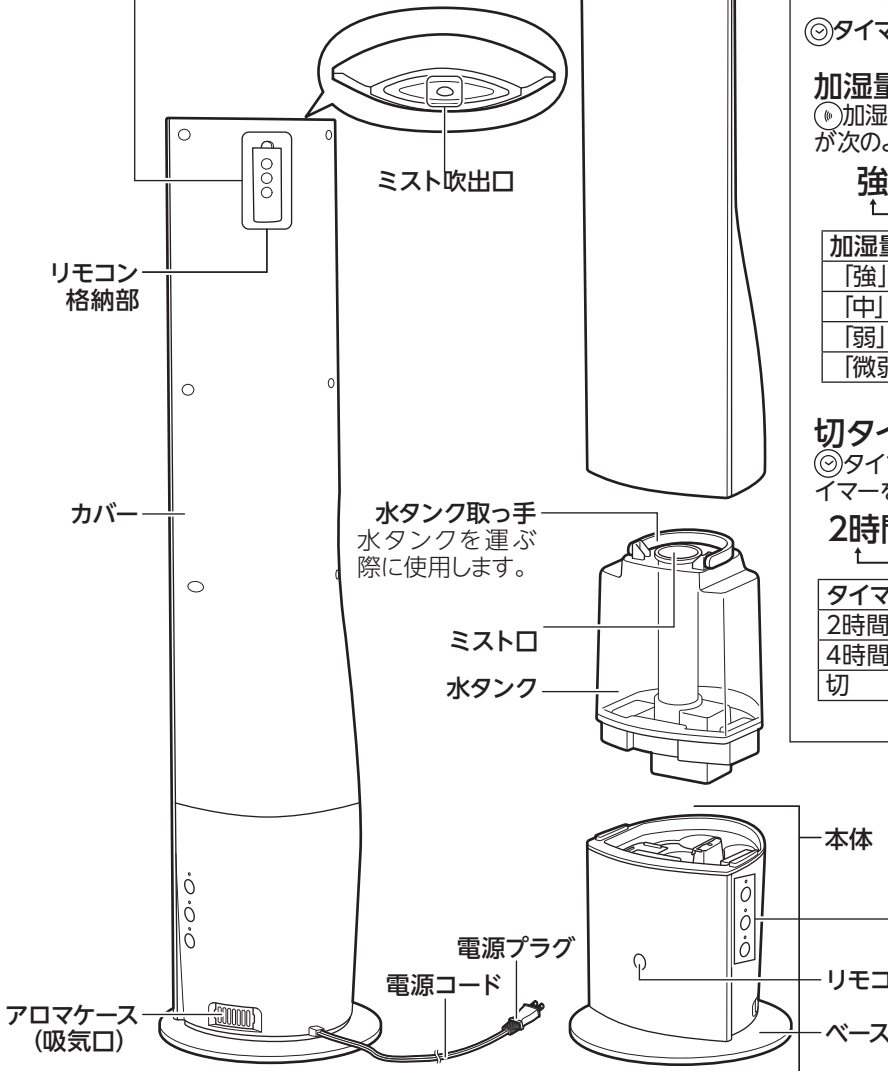
加湿量の設定	加湿量ランプの色
[強]	青色点灯
[中]	緑色点灯
[弱]	オレンジ色点灯
[微弱]	オレンジ色点滅

切タイマーの設定:

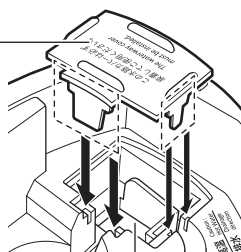
③タイマー/消灯ボタンを押すことで切タイマーを設定できます。

2時間 → 4時間 → タイマー切

タイマーの設定	タイマーランプの色
2時間	白色点灯
4時間	白色点滅
切	消灯



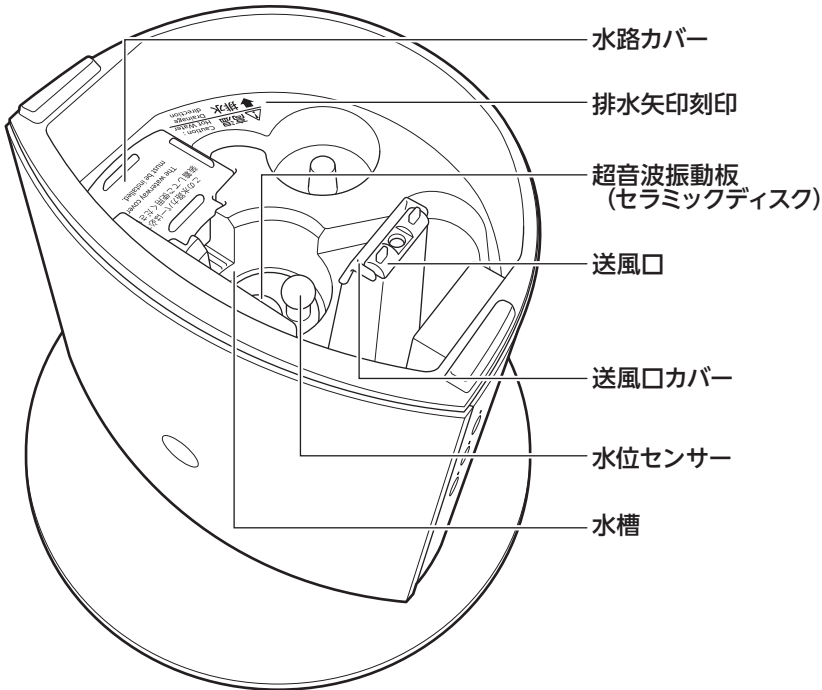
水路カバー



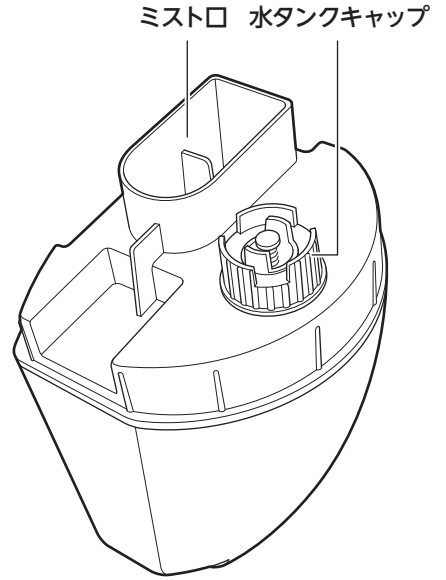
ヒーター

※水路カバーを正しく取り付けないと、本体よりお湯があふれる原因となります。

水路カバー下部脚部分（点線部）を本体水路の溝部（矢印で指し示している箇所）にしっかりと差し込んでください。

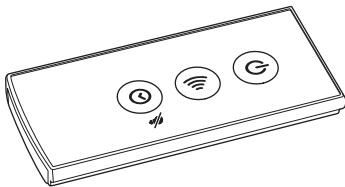


本体内部

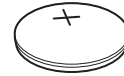


水タンク裏面

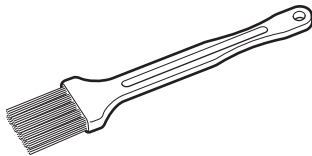
付属品



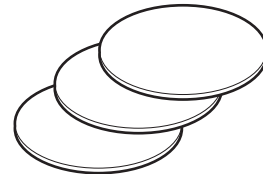
リモコン



コイン形リチウム電池



掃除用ブラシ



交換用フェルト 4枚
(1枚は本体に装着済)

⚠️ 注意

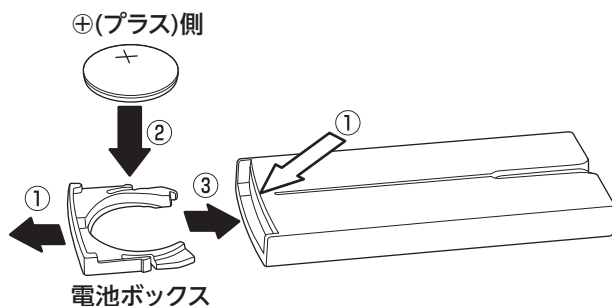
- アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。
本体の破損、故障の原因になります。
- 本体を移動させる場合は、先に水タンクをはずし、排水矢印刻印の方向から本体の水を捨てる。
水タンク及び本体の水がこぼれるおそれがあります。
- 水路カバーを必ず取り付けて使用する。
取り付けないで使用すると水漏れの原因になります。お手入れの時以外は取りはずさないでください。
- 本体の水を捨てる時は、排水矢印刻印の方向から捨てる。
他の方向から水を捨てる、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

正しい使いかた

リモコンの準備

1. 電池を入れる

- ① リモコンの操作表示面を下にして右図の↓部に指を引っ掛けて、電池ボックスを引き出します。
- ② ⊕ (プラス) と ⊖ (マイナス) の向きに注意して、電池を入れます。
※+極を上にして、電池ボックスに入れます。
- ③ 電池ボックスを差し込みます。
※しっかりと奥まで押し込んでください。

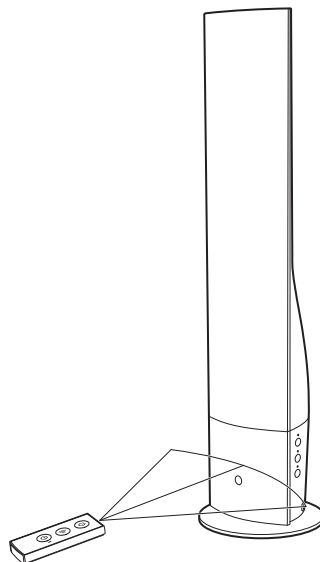


⚠注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

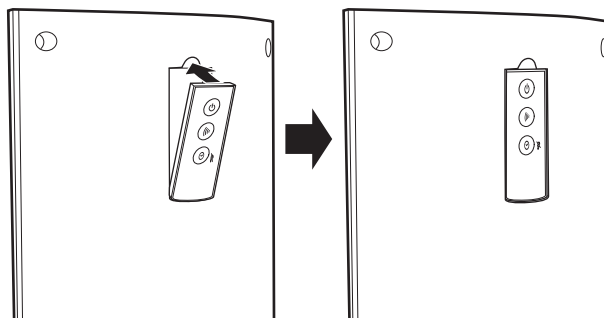
使用可能範囲

- 本体正面から直線で約5m
- 本体正面から左右合わせて約60度以内
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。



2. 使用しないときはカバー背面に取り付ける

- ※ 本体が倒れないように、カバーをしっかりと押さえて取り付けてください。



使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。



テレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。
雑音の原因になる場合があります。

2. 給水する

- ① 本体上部のカバーをはずします。
- ② 本体より水タンクを取り出し、水タンクキャップをはずしてきれいな常温の水道水を入れてください。
- ③ 水タンクキャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。



• 水道水以外の水は使用しない。
• 運転終了後、再度給水する場合はカバーを取りはずすときにカバー内部の水滴がこぼれますので、タオルなどを準備して本体や床が濡れないようにしてください。

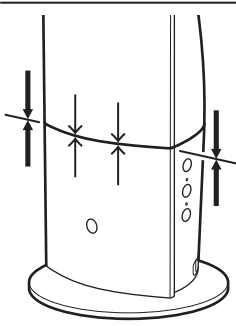
3. 水タンク・カバーを本体に確実に取り付ける

水タンクを本体に取り付け、本体にカバーをしっかりかぶせます。

本体とカバーはすき間のないようにしっかり取り付けてください

上から押し付けて確実に取り付けます。

すき間があると、水もれなどの原因になります。

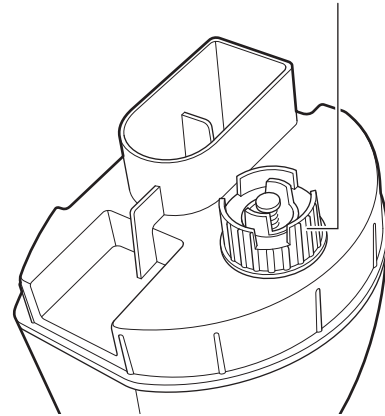


外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
消し忘れや火災の原因になります。

4. 電源プラグをコンセントに差し込む

※ 水が本体内の水位センサーまで届いていないときは、給水ランプが点灯し、ブザーが5回鳴ります。

水タンクキャップ

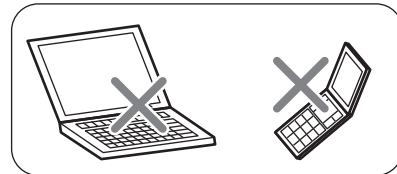
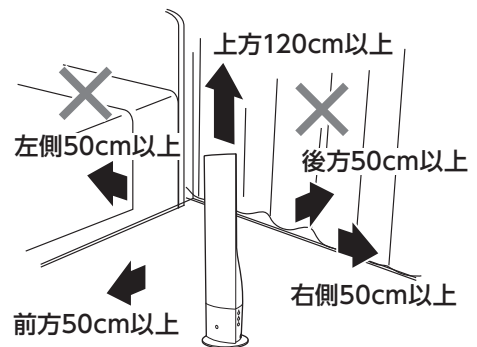


水タンク裏面

本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本製品の設置は以下の点に注意してください。

- 本製品は壁、寝具、カーテン、家具などから50cm以上離して設置してください。
- ミスト吹出口を壁、寝具、カーテン、家具に向けないでください。



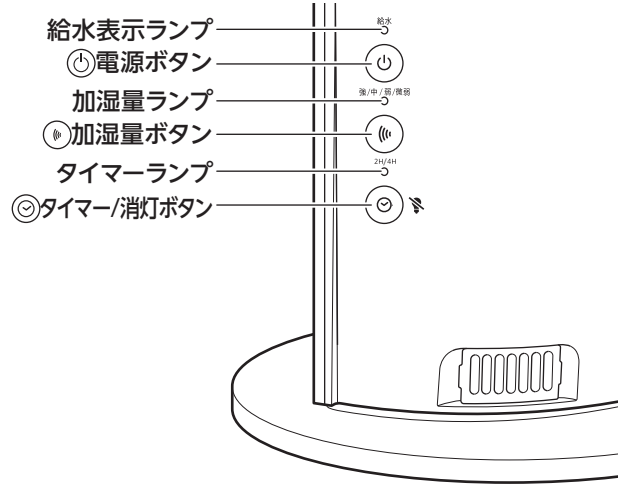
- じゅうたんなど毛足の長い布の上には置かないでください。吸気口がふさがり、本体の故障、周囲への水漏れの原因になります。
- 本製品を使用すると、水道水に含まれるミネラル分などが、白い粉状になって室内に拡散されます。近くに置いた家具や電子機器などに付着し、白い汚れになったり、機器の機能に悪影響を与えてしまいますので、設置場所には十分注意してください。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。

正しい使いかた (つづき)

運転の開始／停止

1. 運転を開始する

- ①電源ボタンを押すと加湿量ランプが青色に点灯し、約2分後に加湿運転を開始します。
- ※ミスト吹出口に、水が溜まることを防ぐため、ファンモーターの運転を約20秒間に1回、約2秒間止めています。



⚠注意

- 冬場に就寝する際、暖房機を止めて室内の温度が15℃以下になり、加湿運転を継続すると結露が発生することがあります。
 本体や床が濡れることがありますので、就寝時や室温が15℃以下、湿度が60%以上になる状況が予測される環境で使用される場合は、加湿運転を「弱」または「微弱」モードにするか、使用を停止してください。
- 給水表示ランプが消えてからすぐ②加湿量ボタンを押しても、約2分間は加湿しません。水温を60℃以上に加熱してから加湿運転を行なうためです。

2. 加湿量を設定する

- 加湿量を設定するには②加湿量ボタンを押します。1回押すごとに「強」→「中」→「弱」→「微弱」と切り替わります。加湿量ランプは「強」のときは青色、「中」のときは緑色、「弱」のときはオレンジ色に点灯し、「微弱」のときはオレンジ色で点滅します。
- ※通常は「強」以外の加湿量の設定で使用してください。「強」で使用すると加湿量が多いため、床などが濡れるおそれがあります。十分注意してご使用ください。

加湿量の調節 ②加湿量調節ボタンを押すたびに
強 → 中 → 弱 → 微弱

加湿量の設定	加湿量ランプの色
「強」	青色点灯
「中」	緑色点灯
「弱」	オレンジ色点灯
「微弱」	オレンジ色点滅

運転中に給水表示ランプが赤色に点灯したとき

給水表示ランプが赤色に点灯したときは、水タンクの水が足りなくなっていることを示しています。水タンク、水槽内の水が少なくなるとブザーが5回鳴り、給水表示ランプが赤色に点灯します。

- ① 水槽に残った水を捨てたあと、新しい水道水を水タンクに入れてください。
- ② 水タンクより本体に水が行きわたりますと、給水表示ランプが消灯します。
- ③ ①電源ボタンを押して、運転を開始してください。

⚠注意

給水が必要な場合、ブザーが5回鳴り、給水表示ランプが赤く点灯します。水タンクに水を入れてください。

減光モード

本体またはリモコンの操作をしてから約60秒経過すると、自動的に点灯・点滅しているランプが減光モードになります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消灯モード

本体またはリモコンの◎タイマー/消灯ボタンを長押しすると、消灯モードが設定され、点灯・点滅するランプを消灯させることができます。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプが点灯・点滅します。

⚠注意

- 排水するときや掃除するとき、送風口や操作部に水が入らないようにする。故障の原因になります。
- 本体の水を捨てるときは、排水方向から捨てる。他の方向から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

3. 運転を停止する

- ①電源ボタンを押すと、運転を停止します。
加湿運転を停止後、約1分間送風運転を行ない、そのあと完全に停止します。

4. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

⚠注意

- 長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜く。待機電力が発生しなくなり、省エネになります。
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けたときは、始めから操作をやり直す。運転が停止し、すべての設定が解除されます。

切タイマーの設定

設定した時間になると自動的に運転を停止させる、切タイマーを設定することができます。

1. 運転中に◎タイマー/消灯ボタンを押して切タイマーの時間を設定する

◎タイマー/消灯ボタンを押して、切タイマーの時間を設定することができます。

- ◎タイマー/消灯ボタンを押すたびにタイマーランプが2H(白色点灯)・4H(白色点滅)・(消灯)と変化します。
- 切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが働くまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルするには、タイマー/消灯ボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させる

切タイマーの設定

◎タイマー/消灯ボタンを押すたびに

2時間 → 4時間 → タイマー切

タイマーの設定	タイマーランプの色
2時間	白色点灯
4時間	白色点滅
切	消灯

切タイマー設定後、タイマーランプはタイマーが働くまでの時間を表示します

白色点滅 → 白色点灯 → 消灯

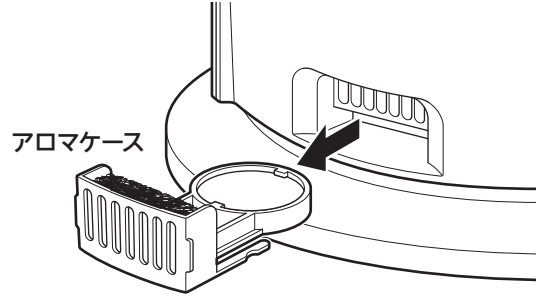
(4時間以内) (2時間以内) (タイマー作動)

正しい使いかた (つづき)

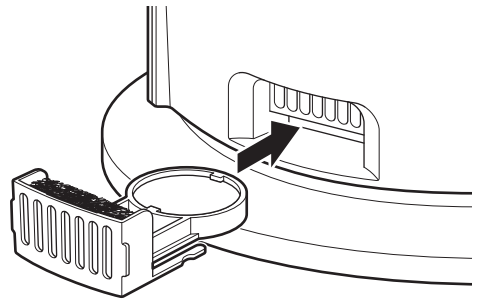
アロマケースの使いかた

1. 本体に取り付けられているアロマケースを引き出す
2. アロマケースに取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませ、本体に取り付ける

アロマケースにフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを外側にこぼれないよう注意しながら2~3滴フェルトに染み込ませます。次にアロマケースを本体の奥までしっかりと差し込みます。



アロマオイル、または
エッセンシャル(天然)オイル



⚠注意

- アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを溢れるまで入れすぎない。
- アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルがアロマケースの外側に付着した場合は必ず拭き取る。
- アロマケースの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルが付着した状態で本体に差し込まない。
- 本製品専用のフェルト以外で使用しない。本体の破損・故障の原因になります。

3. 運転を開始する

8ページの「運転の開始/停止」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ加湿をお楽しみいただけます。

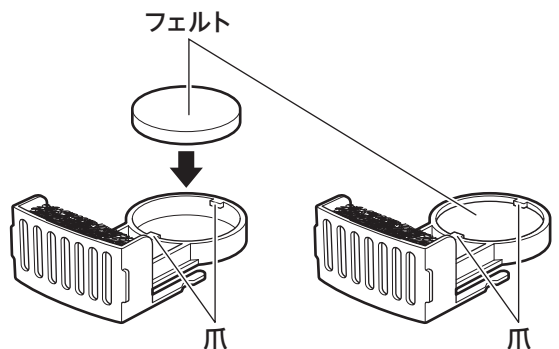
アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを入れない場合は通常の加湿器としてご使用いただけます。

フェルトの交換

- フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- フェルトはアロマケースにご購入時に取り付けられているもの以外に3枚付属品として付属しています。
- フェルトは洗って再使用することができません。
- フェルトはアロマケースの爪の下になるように取り付けてください。
- アロマケースは中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってから、手順2に従って取り付けてください。
- 交換用のフェルトAF-04は別売しております。4枚セット500円(税抜)
- お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室へお問い合わせください。

アロマオイル・エッセンシャル(天然)オイルなどについて

- 炎に近づけないでください。
- 子供の手の届かない場所に保存してください。
- 衣服などに付着した場合は、大量の水で洗い流したあと、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- 手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- 取り扱いについては、アロマオイル・エッセンシャル(天然)オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。



お手入れと保存



警告

- 水タンクを取り出したあと、本体内部の金属部に触れない。(けが・故障の原因)
- 必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってから (10分位) お手入れを行なう。(感電・やけど・けがの原因)
- 清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付ける。(やけど・けが・故障の原因)

本体のお手入れ (週に2回以上)

本体に残っている水をきれいに捨ててください。

※ 水を捨てるときは、必ず本体に表示されている矢印方向から捨ててください。

排水方向以外から水を捨てると、送風口に水が入るなど故障の原因となります。

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤 (柑橘系を除く) に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

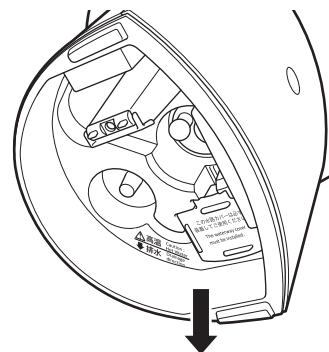
※ 水路カバーを取りはずした場合は、必ず装着しなおしてください。水漏れの原因となります。

※ 水路カバーを正しく取り付けないと、本体よりお湯があふれる原因となります。

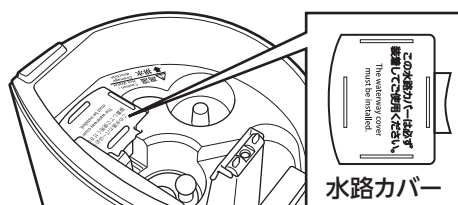
水路カバー下部脚部分 (点線部) を本体水路の溝部 (矢印で指し示している箇所) にしっかりと差し込んでください。

※ 水を捨て、よく乾燥させてください。

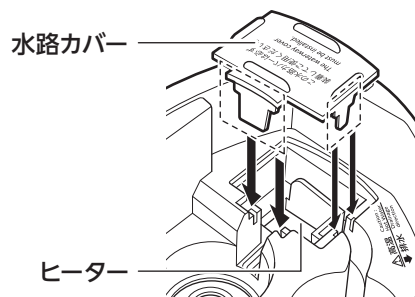
※ お手入れをするとき、オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用中性洗剤を使用しないでください。プラスチックを変色、変質させる原因になります。



排水方向



水路カバー



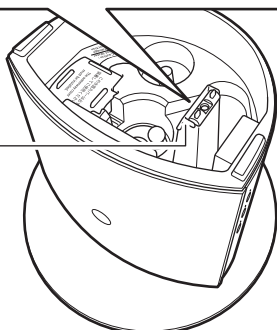
ヒーター

お手入れ時の注意

ここに水を掛けないこと!!

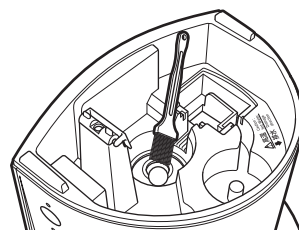
中に水が入ると、ミストを吹き上げるファンモーターが壊れてしまいます。

送風口
(送風口カバーの下)



加湿運転時には中にあるファンモーターが回り、送風口から風が出て、発生したミストを上へ吹き上げます。お手入れ時に水を入れないよう十分に注意してください。

超音波振動板、ヒーター、水槽まわりなどは付属の掃除用ブラシでお手入れしてください



掃除用ブラシはなくさないよう保存し、次回お手入れ時に使用してください。

お手入れと保存 (つづき)

※ アロマケースの吸気口のココリを掃除機などで清掃してください。

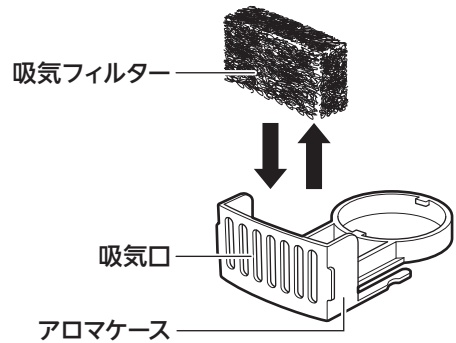
※ アロマケースに取り付けられている吸気フィルターに付着したホコリを水洗いで取り除いてください(強くこすったり、ねじらないでください。破損の原因となることがあります)。

水タンクのお手入れ (週に2回以上)

水タンク内に水を入れ、水タンクキャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。(これを2~3回繰り返します。)

※ 水タンクは必ず水で洗う。

お湯で洗うと変形の恐れがあります。また洗剤等で洗うと故障の原因となりますので、洗剤等は使わないでください。



⚠️ 注意

- ベンジン・シンナーではふかない。(変色や変形の原因)
- オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。
変色、変形させる原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。(変色・キズの原因)
- 水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする。
お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。
- 水道水以外は使わない。
一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。
- ジュースなどの飲料水、温水(40℃以上)、化学薬品、芳香剤(アロマオイルなど)、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。
水タンクや本体が故障する原因となります。

水タンクにカビや雑菌の繁殖が疑われる場合、下記方法にて清掃をお願いします

清掃方法

※ 流し台など水がこぼれても問題のないところで作業を行なってください。

- ① 水タンクへ水を300~500ml程度入れてください。
- ② 水タンクへ適量の台所用塩素系漂白剤を入れてください。
- ③ 水タンクキャップをしっかりと閉めてください。
- ④ 水と漂白剤を攪拌するため、水タンクを5~10回程度振ってください。
- ⑤ 水タンクのキャップ部分が下になるよう置き、30分~1時間程度放置してください。水タンクキャップが床面と接触しないよう気を付けてください。止水弁が押されると水漏れします。

⚠️ 注意

製品本体には取り付けないでください。

- ⑥ 水タンク内部の水を捨て、新しい水で何度か水タンクをよくすすいでください。
※ 汚れのひどいときは2回ほど繰り返してください。

※ 台所用塩素系漂白剤に記載の取り扱い上の注意をご確認ください。

超音波振動板 (セラミックディスク) の交換方法

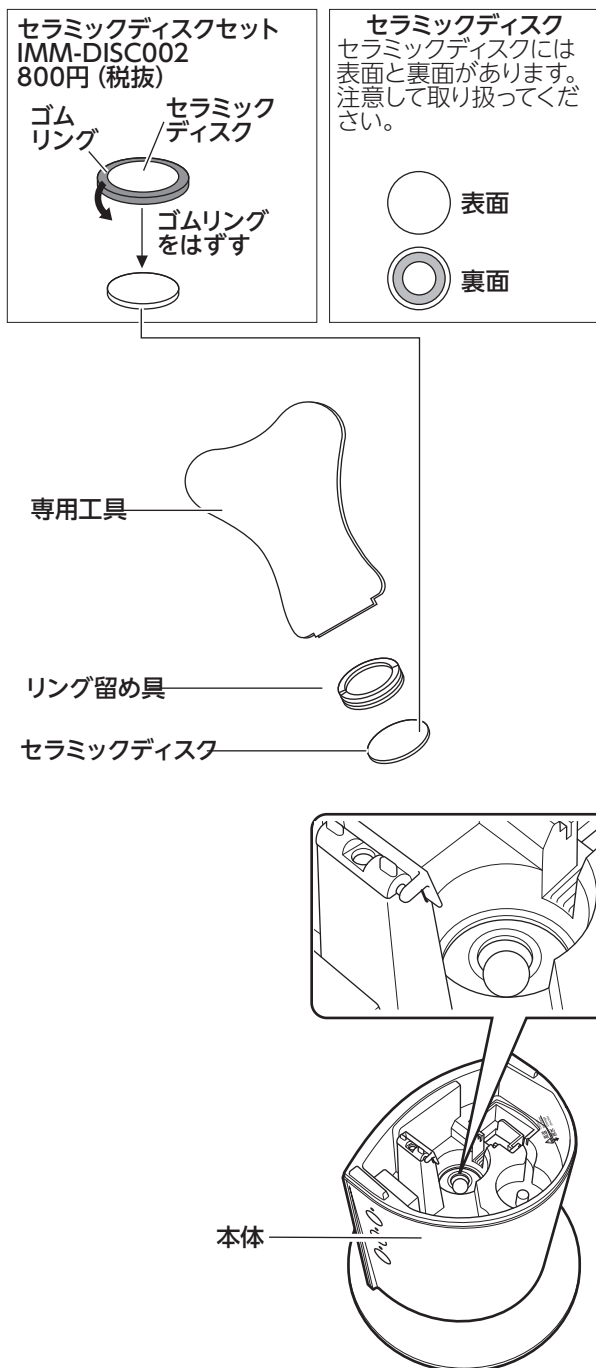
超音波振動板 (セラミックディスク) の耐久時間は約3000時間です。これを過ぎるとミストの発生量が少なくなったり発生しなくなります。このようなときには、別売のセラミックディスクを次の手順でお取り替えください。(右図を参照してください)

- a) 電源を切って、ACアダプターをコンセントから抜き、水を捨てます。
- b) 専用工具でリング留め具を左に回してはずし、リング留め具、セラミックディスクを本体から取りはずします。
- c) 別売の交換用部品を取り付け、専用工具にてリング留め具を締めつけます。

注) 1 交換用セラミックディスクは破損防止用のゴムリングにて保護されています。取り付けの際には、セラミックディスクを損傷しないようにゴムリングをはずしてください。

注) 2 セラミックディスクには表と裏があります。取り付けの際には表が見えるように取り付けてください。

お取り替えの際は水槽の水分をふき取り、乾かしてください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込む
加湿しない、または加湿量が少ない	・給水表示ランプが赤色に点灯している	給水する
	・ ㊦ 電源ボタンを押してから2分以内である	給水表示ランプが消えてからすぐに ㊦ 電源ボタンを押しても、約2分間は加湿しません。水温を60°C以上に加熱してから加湿運転を行なうためです
	・超音波振動板(セラミックディスク)が交換時期になっている ※超音波振動板(セラミックディスク)の耐久時間は約3000時間です。	耐久時間を超えるとミストの発生量が少なくなったり、発生しなくなります。超音波振動板(セラミックディスク)の交換が必要です。商品を購入した販売店から専用セラミックディスクセットを購入して交換してください(13ページ参照)
給水しても給水表示ランプが赤色に点灯する	・水タンクが本体に確実に取り付けられていない	水タンクを確実に取り付ける
においがでる	・水道水以外を使用している	水タンクに残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
水タンクにヒビがある	・水タンクにアロマオイルなどを入れている	水タンクにアロマオイルなどを入れると水タンクにヒビが発生。水タンクを交換してください(別途購入)
約20秒間に1回ミストが止まりそうになる	・故障ではありません。ミスト吹出口に水が溜まることを防ぐため、約20秒間に1回、ファンモーターを約2秒間止めています。	通常の動作なので、異常ではありません
加湿量ランプやタイマーランプなどが点灯・点滅していない	・消灯モードになっている	本体またはリモコンの ㊦ 電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モード・消灯モードが解除され、元の明るさに戻る(9ページ)
加湿量ランプやタイマーランプなどの点灯・点滅が暗い	・最後に操作してから約1分が経過し、減光モードになっている	
リモコンから操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する(6ページ)
	・コイン形リチウム電池が逆に入っている	コイン形リチウム電池を正しく入れる(6ページ)
	・リモコン収納部に取り付けのまま操作している ・リモコン受光部に向けて操作していない ・リモコン受光部までの距離が遠い	リモコンの送信部をリモコン受光部に向けて、使用可能範囲で操作する(6ページ)

長年ご使用の加湿器はよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

株式会社 **ドウシシャ** www.doshisha.co.jp

(東京本社第一ビル) 〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10 (大阪本社) 〒542-8525 大阪市中央区東心斎橋1-5-5

故障・修理についての
ご相談に関しては…

【受付時間】 9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

ドウシシャ福井第2家電サービスセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。